11月30日 水曜日 29日発行
昭和30年 西暦1955年
発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5 電話 代表 京橋(56)8646番
直通 販売(〃)0437 広告(〃)3995
編集局 港区芝金杉川口町13 電話 代表 三田(45)8136番
振替貯金口座 東京170071番

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES

第3294号 （昭和24年6月27日 第三種郵便物認可）（昭和24年5月27日 国鉄特別扱承認 第232号）
（中華郵政台字第637号執照登記為第2類新聞紙類・内政内警証報僑内台警字第0136号）

あすの暦 11月30日（水） 旧10月17日
月齢 15・6 日出 前6・30 日入 後4・28 月出 後5・00 月入 前6・48 満潮 前6・00 後4・50 干潮 前11・30 後11・55 （大潮）

天気予報
今晩 北東の風晴れたり曇ったり。
明日 北よりの風晴、朝晩冷え込む。

外交、地財対策など協議
政府与党首脳

政府は臨時国会再開を控え、地方財政対策ならびに公務員の年末手当などについて結論を急いでいるが、二十九日午後二時から院内で外交問題に関する政府与党首脳部会議、引続き同三時半から首相官邸で地方財政に関する関係閣僚と党幹部との懇談会を開いた。さらに三十日も午後二時から首相官邸で公務員の年末手当問題について関係閣僚懇談会を開いて再開国会に臨む態勢を整える。

国会再開に備え 懸案の結論を急ぐ

政府与党は外交面では日比賠償および日ソ交渉、内政面では地方財政赤字対策と公務員の年末手当問題が再開国会で論戦の焦点になるものと予想している。このためこれら諸問題に対する政府の方針ならびに態度決定を急ぎ、この日は外交問題についてまず同日午後二時から院内大臣室に重光外相を中心に、連絡閣僚として河野農相および根本官房長官、党側から岸幹事長、水田政調会長の他芦田旧民主党外交特別委員長、津島、岡崎旧自由党正副外交調査会長らが出席して重要協議を行った。また引続き午後三時半から首相官邸で一万田大蔵、太田自治庁、河野農林の各閣僚と根本官房長官、党側から岸幹事長ら党幹部が出席地方財政赤字対策について協議するなど政府与党間にあわただしい動きがみられた。さらに三十日には給与担当の河野農相を中心に午後二時から首相官邸で公務員の年末手当に関する関係閣僚懇談会を開く予定である。

通常国会 来月二十日召集

政府は十二月二日から再開される臨時国会の準備を急いでいるが、二十九日の閣議で再開冒頭に行う鳩山首相の所信表明に引続き、重光外相の外交報告演説を行うことをきめた。このため十二月一日午前十時から臨時閣議を開き、首相の所信表明および外交報告演説の内容について検討することになった。なお同日の閣議で第二十四通常国会を十二月二十日に召集することを決め、直ちにその手続きをとった。

行管庁設置法 改正案を提出 河野長官談

河野行政管理庁長官は二十九日閣議後の記者会見で行政機構改革について臨時国会に行政管理庁設置法改正案を提出すると次のように語った。

本格的な機構改革は来年に入ってからになると思うが、まず手始めとして諮問機関である行政審議会の人員をふやし、これを強化するため臨時国会に行政管理庁設置法改正案を提出する。また監察部門についても権限強化を考慮しており、臨時国会で関係法の改正をしようと思っている。

地財問題協議 岸・河野会談

岸自民党幹事長は二十九日午前十時永田町の首相官邸に河野農相を訪問、地方財政赤字対策問題について用談した。この会談で岸幹事長は農相に対し『地方への配分額百四十億円中、公共事業費削減分八十億円については各省庁に反対が多いので砂糖など特殊物資関係法案を早急に提出し、砂糖益金から三十億円出したい』とのべ善処を要望した。

早急に予算案編成日程作成 根本長官要望

根本官房長官は二十九日の閣議で三十一年度予算案編成のスケジュールを早急に作成するよう一万田蔵相に要請した。根本官房長官によれば予算編成方針が十二月十五日までに決定しなければ通常国会への提出が間にあわないとの見地から蔵相に要望したもので一万田蔵相もこれを了承した。なお根本長官は臨時国会再開に際し今国会に提出する各省関係の法律案を十二月二日までに提出するよう各閣僚に要望、了承をえた。

自民党内に七特別委を設置 二十九日

自民党は二十九日午前十一時から院内で総務会を開き、党内につぎの七特別委員会を設置することをきめた。

憲法改正、外交対策、文教対策、科学技術、経済計画、行政機構、北海道開発

『教委』廃止など 全国町村長会決議

全国町村会主催の地方自治危機突破全国町村長大会は二十九日午後一時から両国の国際スタジアムで、全国の町村長約四千三百名が集って開かれた。緒方自民党代行委員、太田自治庁長官、鈴木社会党委員長、大矢衆院、小笠原参院両地方行政委員長らを来賓に迎え、これまで町村会が主張を続けてきた

一、地方教育委員会の即時廃止。
一、合併新町村の育成強化。
一、自主財源を充実し、地方財政の確立

を中心に協議、この三項目を決議した。また大会は宣言をきめ、三十日代表が宣言、決議にもとづいて政府、国会など関係方面に実行運動を展開することをきめ、午後三時すぎ散会した。

財界春秋
呉越同舟の結婚披露宴 三鬼陽之助

秋雨降る二十七日の日曜午後四時から、日活会館が誇るシルバールームで、雅叙園観光、千土地興行社長の松尾国三氏の一粒種令嬢と、千葉は佐倉宗五郎で名高い旧堀田子爵の御曹司正春君との結婚式が、盛大に行われた。

会する者ザッと二百人、政界では自民党の緒方竹虎代行委員をはじめ大麻唯男国務相、川崎秀二前厚相、それに社会党の鈴木茂三郎委員長、まず呉越同舟の絵を展開すれば、財界、ことに松尾氏の属する興行界は松竹は大谷竹次郎、城戸四郎の会長、社長、同系の歌舞伎座は二島良蔵、加賀三郎の両専務、それに東宝は小林富佐雄新社長、大映は永田雅一社長、川口松太郎専務、新東宝、東映連の顔は、あいにく見当らなかったが誰か来ていたはず。

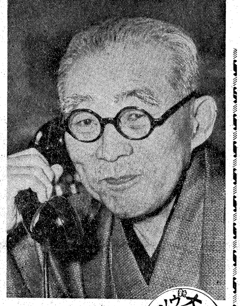
これに対し『五社協定には絶対加盟せず』の日活側は堀久作社長をはじめ江守、仲村の両常務が、地の利をえて出現。堀、永田の大物同士も『ヤア、ヤア』と、型どおりの挨拶は交していたが、永田ラッパが友人仲間をコマネズミのように飛び回っているのに対し、堀入道は悠然寄らばのみ込む体容を示していた。

御仲人は、小林開発銀行総裁夫妻で、いかにも小林式の書畳豊富な挨拶だが、新郎新婦の経歴なぞ途中で原稿を読み出す始末。あ[illegible]悪い国策パルプ副社長の水野成夫氏『原稿を読んだ[illegible]上出来だった』と、[illegible]評を下したとか。[illegible]同郷関係から緒方氏、[illegible]係から大谷竹次郎老がやったが、大谷老の挨拶はさすがで、今里日本精工社長にいわせると『日本一ウマい』もののようである。

筆者のテーブルには、吉本興業社長の吉本正之助、同専務の弘高夫妻 明治座社長の新田新作夫妻、矢野範二弁護士夫妻、それに日本プロレス興行社長の永田貞雄夫妻で、ひとり者はあわれ筆者だけというわけ。しかも、筆者の側に座った麗人は永田節子夫人で、かつての赤坂秀駒サンである。林夫人が『可愛いくなったでしょう』と問えば『おかげさまで…』と、言葉少なに答える。このあいだ生れた赤ちゃんのことである。

ところがこの大谷老が『松尾君の今日あるのは、同夫人の内助によるもので、松尾君が外で悪い遊びなどせず、常に家庭第一主義を唱えるのも、この同夫人のたまものである…』と、夫婦愛の極致を説き出すと、どういう訳か、これまでハシャぎきっていた筆者の周囲のご亭主連、深く首を垂れる。永田氏のごとき、急に思い出したように節子夫人のコーヒーに砂糖を入れてやり『仲がよいでしょう』と、自画自讃する始末である。見渡すと亭主連の三分の二程度は、お灸をすえられたように神妙な顔付に変っていた。

それにしても、筆者は今さらながら永田節子夫人に感心した。というのは、御亭主の貞雄氏が、前記の今里氏の紹介で水野成夫文化放送社長に紹介され、如才ない水野氏から『文化放送のスポンサーになって下さいよ』と肩をたたかれ、嬉しそうに席に戻り、節子夫人に『いま紹介されたのが有名な水野成夫サンだ』と囁いた。筆者は職業柄節子夫人が、どういう表情を示すかと見守ったところ、令夫人少しも騒がず『ソウ』と、眉一つ動かさないのであった。永田プロレス社長、完全に令夫人に判定負けの一瞬である。



ガッツウ新大臣 ⑦
文部大臣 清瀬一郎氏

そつのない"雄弁"
早くも文教政策を一席

○…九段は靖国神社の横、都電の通りに面して鉄筋二階建の銀行のような建物がある。横三尺、縦二尺の真鍮板に清瀬一郎法律事務所の大看板が出ている。殺風景な事務所のデスクには厚さ三寸ほども"祝電"がのっている。やがて先客を送って現れた新大臣、腰を下ろすと同時に、机の上のビスケットを頬ばりながら、記者との応対だ。

○…『日本人はエエとこがある。親切で勤勉、八千万もの民族が同じ種族で言葉も同じ、しかも皇室という自然にできた中心をもって……。こういうよさを保持しながら新時代に応じた大胆な改革を行う、これが文教の根本方針だ。戦前の修身は儒教的道徳にこり固まるという弊害があったが、もっと広い意味の自由主義的道徳を打ち立てる必要がある』と強調、そして教委や教科書などの現実問題については『君たちがいくら誘導尋問を試みても、中教審の答申がある迄はノーコメントだ』となかなか手がたい。五・一五事件や、東京裁判の特別弁護人として鳴らした"論客清瀬さん"の片鱗を思わせる。

○…日教組問題には"白紙で臨み"肚を打ち割って話し合えば判って貰えると自信タップリ、日本の興隆期に育った人間と、敗戦の混乱期に育った"旅路"の違いによって多少のズレはあろうが『大学に通ってるセガレや、小学校に行っている孫があるが、子供もなかなか親父のいうことをきかなくて…どうも若い時はトゲトゲしくて…』と、日教組のうるさ型を思いうかべる様子。日教組も大臣の考えるほど簡単じゃあるまい。"憂うべき教科書"など難問題を前にして、両者のカミ合いは見ものだろう。

○…晩酌はウイスキー一辺倒、体はいたって丈夫、『七十才には見えないだろう』というのが自慢の一つ。そういえばピンと張った見事な長い眉毛は長命の"シンボル"だったっけ。


㊤松本全権 ㊦マリク全権

日ソ交渉、年内再開
松本全権、十日ごろ帰任

外電は日ソ交渉のマリク・ソ連全権が十二月九日ロンドンに帰任する旨報じているが、これにともない、松本全権はロンドンの高橋代表代理を通じてソ連側と交渉再開について打合せた上、同月十日前後には日本を出発、帰任することとなろう。この結果、交渉は年内に再開、一、二回程度の会談が行われるものとみられるが、新党の緊急政策にもとづいて南千島まで返還せよとの線で交渉を続行することになろう。

これについて松本全権は次のように語った。

『ロンドン出発前の共同コミュニケでは私が帰国すれば交渉を再開することになっているが、私が帰国したのはマリク全権がニューヨークへ出たためである。従ってマリク全権が帰国すれば交渉再開について打合せた上で来月中旬頃までにはロンドンに帰任して交渉を再開することになるだろう。この結果年内に一、二回の会談が行われるだろう』

来月九日にロンドンへ帰任 マリク大使談

【ニューヨーク二十八日発ロイター＝共同】ニューヨーク滞在中のソ連のマリク駐英大使は二十八日記者団と会見『今のところロンドンへは十二月九日に帰任するつもりである』と言明した。同大使は『あなたは日ソ交渉再開のためロンドンへ帰るのか』と聞かれたのに対し、肩をすくめ『ロンドンでの任務に帰るためだ』と答えた。

粋人酔筆


投げ込み寺
岩佐東一郎

寺の俗称にも色々あるが、三の輪の『投げ込み寺』という名前ほど無慙であわれを感じさせる名前はあるまい。本当は『浄閑寺』というのだが、一般には『投げ込み寺』で通っている。知らない人がきくと、犬や猫の死骸でも投げ込んで葬った寺かと思うかもしれないが、死骸は死骸でもレッキとした人間、吉原の遊女たちのナキガラを葬った寺だ。江戸以来、吉原で病死したり焼死したりした遊女たちで、引取り手のない遺骨を約二万体も葬ってある寺だ。

この寺を詠んだ川柳に『生れては苦界死しては浄閑寺』という名吟のあることを、正岡容から聞いて、それ以来、この句はぼくの脳裡にこびりついて離れなくなった。投げ込み寺の手向けの句として、この句ぐらいふさわしいものはあるまいと思う。親のため夫のため泣く泣く吉原へ身を売った女たち。貧乏なればこそ苦界のつとめ。死んでしまえば犬猫同然の扱いで、浄閑寺へ投げ込まれる不幸な一生を、この句はいみじくも詠んでいる。

句は知っていても、作者は誰だか長いこと知らずにいたところ、『せんりう』四号誌上で、作者は花又花酔という人であると知ったばかりか、その人の『吉原供養』という川柳随筆にも接して、うれしくなった。

同人の大木箭我君は、ぼくの問いに対して『この人は吉川英治氏（雉子郎）を故井上剣花坊の門へ引込んだ人で、その昔、吉原の句ばかり詠んでおりました。また現在たった二人の芝居の肉襦袢に刺青の絵を描く人です』と、親切に教えてくれた。なるほどこの人の句は『初会客名前は荒木又右衛門』『さもあらん間夫は引過ぎ俺は間夫』『床の番ぜんたいあいつ売れ過る』『やる瀬なき格子馴染という名前』など、どれもくるわの句ばかりだ。しかし『生れては苦界死しては浄閑寺』の句にトドメをさすものと思う。



お寺の話でしめっぽくなったから話題を変えて『宵待草』の歌に移す。『宵待草』の歌といえば、よほどの音痴でない限り歌わぬ人はないだろう。〽待てどくらせど来ぬ人を、宵待草のやるせなさ、今宵は月も出ぬそうな……おセンチだが、いい歌詞であり、いい歌曲である。日本ムスメのやるせない気持ちをよく表現しているし、上品な歌詞で、現在やたらとレコードにラジオに続出する低俗野卑な流行歌とは格段の相違がある。

だが、さてこの歌の作者は誰で、この曲の作者は誰かとなると、『話の泉』の旦那方ならいざ知らず、案外に知らぬ人が多い。実はぼくも最近まで知らなかった。というより気にもしないで歌っていたのだった。

作詞は、竹久夢二で、作曲は、多忠亮なのである。もともと夢二の小曲集『どんたく』の中の『日本むすめ』に収められた詩であった。それがたまたま、多忠亮の作曲がつくとガゼン京阪地方で流行し、やがて全国に歌われるようになったのだ。大正七年のことだというから、随分古いことだ。『セノオ楽譜』の一冊に収められて、夢二の特色のある装画で発売されたのである。

当時、ある美術家の一団などは、渋谷にあった夢二の家へ整列して、この宵待草を合唱したものだから、家にいた夢二はびっくりして飛び出したという。いい話ではないか。時代もよかったのであろう。

人というものはすぐ替歌を作りたがるもので、ご他聞にもれずこの『宵待草』の替歌を幾つかぼくは酒間で聞いた。〽待てどくらせど来ぬ為替、下宿ぐらしのやるせなさ、今宵は酒も出ぬそうな…。これなどは学生の実感が出ていると思う。時たま、ラジオの『のど自慢』などで歌われる時に、末尾の『今宵は月も出ぬそうな』を『今宵も月は出ぬそうな』と平然と歌っているが、これは大まちがいである。

国鉄幹線の電化を説明
十河総裁 首相に協力を要請


【写真は鳩山首相㊧と会談する十河国鉄総裁】

十河国鉄総裁は二十九日午前九時半首相官邸に鳩山首相を訪ね、国鉄の再建および電化問題について約二十分間懇談した。十河総裁は先に行政管理庁が行った国鉄経営に関する勧告のうち施設、減価償却など国鉄側の悪い点は速かに改善し、国鉄再建に尽したいと述べ首相の了解をえた。また十河氏は、わが国の文化、経済の発展のため国鉄電化の必要を強調し、主要幹線三千三百キロを電化する計画に対して政府は新内閣の方針としてこれを取り上げ、予算面でも協力して欲しいと要請した。

これに対し首相は賛意を表し、協力を約した。

なお同総裁は首相との会見に先きだち根本官房長官を訪問、同様に要請した。

十河総裁談 行管の勧告は私どものいたらぬ結果で総理にこの点おわびした。ただ運賃値上げに結びつけて世間からみられているが、運賃値上は国鉄電化のためだ。いま主要幹線三千三百キロの電化を計画しており、これに要する経費は千八百億円で、どうしても運賃値上げに頼らねばならぬ。この点総理も賛意を表明された。

韓国、空軍の使用も用意 日本漁船閉出し

【京城二十九日発UP＝共同】韓国連合参謀本部の李亨根議長は二十八日UP記者との会見で『日本漁船を韓国領海からしめ出すために韓国はジェット機をふくむ空軍を使用する予定である』と次のように警告した。

われわれはもちろん空軍を出動させることにちゅうちょしないであろう。韓国軍首脳の間には必要な時がくればいつでも実力行使することで完全に意見が一致している。日本は十七日の韓国側警告を誤解して、韓国は戦争を欲しているのだといっている。われわれは日本と戦うつもりはないが、日本側のいかなる干渉をも許さない。地方の司令官には必要な時に射撃を行う権限がすでに与えられている。

米大使、国府外相と会談

【台北二十八日発中央社＝共同】台湾駐在のランキン米大使は二十八日、葉公超国府外相を訪れ約三十分間会談した。

ないがい川柳


スチュワーデス飛行機よりも玉の輿 千代田 南渡波
仲人は嘘を見計り低い声 江東 鴻池しげこ
失業をしてサンガーに感心し 目黒 山下胡水
家出してもう宿入りでない娘 中野 林加禰子
【賞】ちと叱る職面接へ母案じ 市川 松沢敏行

内外抄

北海道のオネスト・ジョン試射に知事までが反対で座り込みの抗議。政府だらしがねえぞ。

◇

官庁の門松廃止だけが申し訳の新生活運動になりそう。全くお役所仕事の手本になる。

◇

カンボジアが日本から受取る百万円を日赤に寄付した。その好意が何よりうれしい。有難う。

◇

在日朝鮮人四人に一人が生活保護を受け日本人の十倍の割。『ご迷惑かけます』ならまだよいが。

◇

水道料金の三割方値上げ案はお台所に響く話。主婦連合会さん、騒げるタネができましたね。

市況 確り保合

さすがに整理一巡の振合となり一部材料株に買物がみられて市況は概して落着模様となったが大証券の総見送りと月末接近から積極的な買気に乏しいため全般は閑散株合の域を脱しきれなかった。特定株は目先売物一巡と融資残の減少からマバラの押目買がみられて、三菱地所が七円方反発したほか東海上等主力株は三円高と小締った。雑株は大部分見送られコゲ付場面にあったが三井不が三井本社との合併をはやされて場外の三井本社とともに十三円方急進し、これにつれて商社株の一部と防衛庁発注を材料に光学株が買われて三円方小高くその他も概して小確りの商状であった。

▽高い株＝三井不十三円、地所七円、旧物産六円、楽器五円、第一物四円、旧商事、日光学、東光学、電気化、大日製三円

▽安い株＝帝国車輌、養命酒五円、ゼネ物四円、大阪糖、日鉄鉱、鐘化、西武三円

東京株式仲値
□新株落 △配当落 （29日前場終値）

特定銘柄	
東海上	233
郵船	62
新三菱	82
日清紡	250
味の素	289
三越	272
三菱地	467
平和不	208
日東化	100
日産化	85
三菱化	117
三井化	159
協和醗	140
東合成	145
三共薬	162
信越化	—
東高圧	154
昭電工	112
日本曹	107
旭電化	87
三菱造	99
三井造	131
三菱重	65
石川重	95
精工	135
東洋ベ	122
日立造	64
浦賀	63
日本光	140
キヤノ	160
理研光	54
三菱電	81

日立	76
東芝	66
三洋電	—
松下電	153
八電	170
東洋紡	159
鐘紡	128
富士紡	119
大日紡	85
日東紡	70
片倉	29
東邦レ	126
帝麻	37
中織	43
帝人	158
東洋レ	211
三菱レ	136
倉レ	129
旭化成	392
山陽パ	144
日本パ	118
国策パ	135
東北パ	126
日毛	225
帝石	87
日石	106
昭和石	152
東燃	142
三菱石	141
大協石	142
三井金	107
三菱金	113
日鉱	106
住友金	111

三菱鉱	50
古河鉱	77
同和鉱	138
住友炭	60
三井山	58
北海炭	63
日鉄鉱	375
商船	45
三井船	49
西武	366
藤田興	212
飯野海	62
日銀	—
東銀	55
三井銀	73
富士銀	88
日証金	68
安田火	91
大正海	84
住友海	79
千代田	—
東電	612
関西電	669
鋼管	85
日製鋼	73
八幡	61
富士鉄	56
神戸鋼	58
日特鋼	104
日軽金	159
日金工	81
日本粉	128
日清粉	125
日本ビ	166
朝日ビ	180
キリン	202
宝酒造	124

台糖	260
明糖	119
甜菜糖	117
野田永	200
森永	180
明菓	172
日水産	95
昭和産	108
東洋醸	86
合同酒	149
三楽	128
大阪糖	155
三井物	157
第一物	149
白木屋	—
高島屋	102
大丸	—
日活	70
松竹	206
東宝	—
大映	168
王子紙	228
十条紙	272
本州紙	93
三菱紙	84
北越紙	63
日セメ	151
磐城セ	258
小野田	89
富士写	143
小西六	105
横浜ゴ	150
旭硝子	162
三井不	790
三井倉	82
渋沢倉	76
東洋埠	200

青春無宿 (203)
大林清 下高原健二画

夢いつの日に（一）

次郎はふと眼をさました。顔に陽の射しはじめたのを、夢うつつのうちに感じたからだった。射るような光を眼に沁ませながら、薄く瞼をあけてみた。それは東側の窓を覆ったカーテンの隙から、まっすぐ射し入って来ているものだった。

首をめぐらしてあたりを見まわす前に、ここがバー・スカーレットであることに気づいた。

昨夜は銀六アパートの焼跡整理におそくまでかかった。一物も残さず灰になってはいたが、呆然自失している居住者たちと共に、善後策を講じなければならなかった。それぞれに一時の身の寄せ先がきまり、あとは明日のことにして引揚げたのが、実際はもうその明日になっている今暁の二時ごろだった。



光代はその前に、やはり今夜は家へ帰るといって火事場から去って行った。

次郎は大渕のことを考えると、光代を帰すのが不安だった。ともかくも正午までには必らずこの焼跡へ来て、様子を報らせてくれるようにと固く約束した。

困ったのは次郎自身の行先である。万宗へでもどこへでも、一と晩ぐらい厄介になれないことはなかったが、あとから駈けつけた千子にすすめられるまま、真弓と共に一とまずスカーレットへ引揚げたのだった。

自分の家へ来るようにとしきりにすすめた千子が帰って行ってから、次郎は疲れたからだをそこの長椅子に横たえた。

『あたしの全財産は灰になっちまったのよ、着物だって服だってみんな血の出るようなお金で作ったものなんだ、からだを張ってこしらえたものだってあるんだ』

真弓はそんな泣き言を、何度もくりかえしながら、スタンドの洋酒棚からウィスキーやブランデーを手あたり次第に下ろしてガブ飲みしていたが、やがて泣いたり笑ったりした果てに、ボックスのテーブルへ突っ伏して、正体なく眠ってしまった。

次郎は不自然な格好で寝ていたために痛むからだを、少しずつ長椅子の上へ起した。

部屋の反対側へ眼をやると、まだボックスのテーブルへ突っ伏したままの真弓の姿が見えた。髪は乱れ、着物は着崩れた興醒めする格好だった。

次郎は音を立てないように立ちあがり、スタンドへあゆみよると、その内側へカウンターの下をくぐって、水道の水を貪るように飲んだ。

『今、何時？』

そこからは棕櫚（しゅろ）の鉢陰になって見えない真弓が、ねぼけ声できいた。

『さァ何時頃かな』

陽射しの具合が九時より早いとはなさそうだった。

『何してんの？』

鉢陰から、のぞいていた裾も露わな足をひっこめて、真弓がフラリと立って来た。両手の指を髪へ突っこみ、頭の地肌をボリボリと掻きながら、

『あたしにもお水頂戴』

と、まだ眼はあけずに、酔いの残っている足どりでスタンドへあゆみよった。

次郎はコップに水を満たしてやりながら、光代と約束した正午までに、あまり時間のなさそうなのをあらためて考えた。

彼女がプロポーズ ひきずられた花婿

島崎雪子 神代辰巳の場合


神代辰巳、島崎雪子の結婚写真

映画界でも珍しい直接交渉

◇…島崎雪子の場合は彼女の方が先に惚れこんだというからマコトにおだやかではない。京都の撮影所に彼女が出演した時に隣りのセットで働いていたのが神代(くましろ)助監督だった。別に誰も紹介するわけでもないし、初めは口一つきく間柄でもなかった。ただ彼の真面目な仕事ぶりに島崎は心ひかれ、次第に愛情の炎をもやしたらしい。以心伝心神代助監も彼女の愛のモールスをガッチリ受けとめ正式に仲人も入れずに結婚へ突入した。このいきさつについて京都では『島崎が惚れちゃったのだよ。それで彼女の方から先にプロポーズしたんだ。神代はこれにひきずられ花婿になったが、さてこれからが大変じゃないかね』といっている。

◇…彼が大映京都をやめて日活に入ったのは日活助監督部の同僚の話によると『島崎さんと知り合う前からきまっていたんだが、仕掛り作品があった関係でこちらへ来るのが遅れていたんだ』そうだが、一説には結婚しても亭主が京都、女房が東京の離ればなれでは仕方ないので、島崎も強引に口添えして日活入りの話を早めたのだという。それはともあれ、女の方から男に直接交渉して亭主をカク得したなんて話は、けだし映画界でも初めてだろう。気の強い女とその道の男との組合せは、世間一般でも髪結亭主というようなもので、案外うまく行くかもしれない。

岸の心を捉えた才気渙発型

岸旗江 武田敦の婚約

◇…この松山、神代という二人ながら、どちらかといえ人は二人ながら、どちらかといえばしさが岸旗江の心をとらえたものらしい。二十八才の今日まで、デマとしては山田五十鈴の離婚当座、加藤嘉とどうこうというウワサが一時飛んだぐらいで、およそツヤッぽい話も立たないで来た彼女だが、初めて武田サード氏にだけは胸のときめきを覚えるようになって行った。当時はサードだったし、しかし『太陽ー』も自信はなかったようだが、チーフ、セカンドが相次いで病気で倒れたりした挙句、こんど『浮草日記』でチーフに抜てきをうけたのを機会にやっと彼の方でも結婚しようという具体的な決心ができたようだ。今月末か来月初旬には結婚式を挙げることになっている。


岸旗江

押しかけの突貫娘 ロケ先で混浴風呂 ときには嬉しい〝役得〟も

◇…東映のA助監督がこんな話をしてくれた『伊豆の方へロケした時ですがね。仕事が終ってみんなは大広間で飲んでいたわけですよ。あいにくぼくは飲めないし、もう一度風呂にでも入ってこようと家族風呂、例のお二人用のやつですがね、そこへ一人でノウノウと入っていたのですよ。そうしたら表で女の声がしてね、二人の裸娘が飛びこんできたからびっくりしました。相手はぼくがいるのを知ってて入ってきたのですね。平っちゃらなんですわ。それが会社の子なんですから驚きました。おまけにいうことがふるっていますあ、〝Aさんがいるの知ってたけど、二人だから平気でしょう〟ですってさ。まあ、それ以来あの子たちに何かと役をつけてやるようになりましたがね…』

◇…また新東宝のB助監氏の話である。『彼女の家は京都だったんでね、何かと送ってくるらしいのですよ。例えば秋になれば松茸だとか、冬はミカンだとかね。そのたびにぼくにオスソ分けだとい[illegible]

〝女優さんにモテル〟 助監督という商売

新人、大部屋を牛耳る 女優との接触多いセカンド、サード

◇…さて、助監督の正式名称は[illegible]

[illegible]しないし、昔通りの〝[illegible]〟という言葉が通用[illegible]えば『あすなろ物語』[illegible]

[illegible]的性格の持主であ[illegible]を射止めた山本薩夫[illegible]武田敦助監の方は、[illegible]しなかなかの積極型[illegible]ない街』を昨年春に[illegible]トだった。つまり助[illegible]上にチーフ、セカ[illegible]リっけつの口であ[illegible]う気カン発の優秀な[illegible]監督のお覚えはよか[illegible]といえば高等雑役を[illegible]『ハイ、岸さん出番[illegible]

で第一回作品を作った堀川弘通は黒沢明のお弟子さんだといったような案配だ。チーフ、セカンド、サードと大体三段階になっているが、その下にまだつく助手もいるのだからこの世界は大変である。カチンコといってシーン・ナンバーの書かれた板を、カメラの前で叩けるようになるまでがまず一苦労だ。これを卒業すると俳優との連絡係になる。まずこのクラスがサードからセカンドになるわけで、女優にもてるのはこのへんのところが一番多い。松山、神代両助監督もこのクラスにいたのである。つまり女優との折衝が多い時代[illegible]

女優から文句を食うのもこのクラス。殊に地方ロケに行った場合は役得とはいいながら、普通の人には絶対見られないシーンも拝見できようという特権もあるようだ。こんなことから大スターたちも知らぬうちに彼らに気を許し、やがては結婚へと進むものもあるというワケ。

◇…またこのクラスは新人や大部屋クラスの女優に絶対の権限を持っている。もっともチョイ役から一言セリフをいうまでの配役は彼らがやることが多い。そこでニラミがきくというわけだが、女優の方もこのへんに可愛がられれば[illegible]

〝夫婦和合〟が第一 助監督サラリ廃業

目下ライターに専念中

高峰秀子 松山善三 その後

ニュース ストーリー

高峰秀子が無名の映画青年、松山善三と結婚して助監督という存在をクローズアップさせたのはこの春のこと、続いて島崎雪子も日活の神代辰巳助監督との噂が大きくならないうちにとさる十一日、東京会館で華燭の典をあげるといった早業、その後には元東宝の岸旗江が山本薩夫プロのチーフ武田敦助監督と結婚するという話がひかえているという。まったく今年はスターの結婚年であり助監督大当りの年といえる。そこで『スターは助監督が大好きよ』てな流行語も生れるわけだが、さてその助監督の正体とは…。


松山善三、高峰秀子の結婚写真

◇…キャァくワイく、去る三月二十六日のデコちゃんの結婚式はファンを騒がせ?たが、その後八ヵ月を経たご両人は、最中のように甘く抱き合って新家庭を営んでいるという。ただ違ったのは夫君松山善三が助監督という名を返上し、シナリオ・ライターに仕事を鞍替したことだ。もっとも結婚前からの約束が助監督をやめてシナリオでやっていくといってたのでこれは予定の行動ともいえる。その松山ライターはわずか八ヵ月間にグングンのして、流行ライタ[illegible]

場合一本について大体四十万円の脚本料が入る勘定というから、二百四十万円がとこポッポに入るワケ。といっても結婚によって彼の才能が急にのびたとみるのは誤りで『松山に脚本を頼んでおけばいつかはデコちゃんも出てくれるからね』という某プロデューサーの言葉もあるとおり、彼が流行ライターになった背後にはやはり高峰秀子という大きな存在があったためだとみる向きが多いようだ。

◇…松山に何故助監督の足を洗わせたか。これが高峰の利口さであり、深慮遠謀のよさなのである。もし彼がそのまま助監督をやっていたならば、木下恵介監督の下でまだセカンド級である。すぐ上にはつい最近一本になって『お勝手の花嫁』を演出した川頭義郎監督がいるし、松山善三が晴れの一本立になるのはまだまだ先の話と思わなければならない。それではデコちゃんにしても木下作品に出演するたび、旦那様と顔を合せ、愛するベターハーフの下積み生活をいやでも見なければならない。これは大スター高峰秀子としてもつらいことだし、ひいては家庭不和の原因ともなりかねない。そこで彼女の考えもあり、かつは松山の希望とするシナリオの道へ進めばできるだけにいつも家で仕事ができるだけにいつもいられ、みじめな夫の顔を合わしていられ、みじめな夫てすむ、といったよ[illegible]山善三ライターの誕[illegible]た次第なのである。[illegible]こう作戦が図に当っ[illegible]いもよらぬ事態が起[illegible]れっ子になり、金が[illegible]旦那としてもいささか亭主風も吹かせてみたくなってきたのである。これは一般家庭とかわらない生活主導権の常識で、たまにはデコちゃんからご機嫌を取って貰いたくもなるだろうし、関白の権威を発揮もしたくなるというもの。そんなことから旦那がデコちゃんに対するレジスタンスとして帝国ホテル別居という噂が立った。ところがこれについてご両人は『せっかく一緒になったものを、いまさら別れるものですか。帝国ホテルに行ったのは彼が仕事をやりやすいから行ったまでで、アタシも一緒でしたよ』と相変らず仲の好いところを見せていたという。結局この助監督結婚第一号は成功だったといえよう。

紅灯美人百景

⑩

赤坂—富士村 栄子



京の舞妓が帯をだらりに結んだ姿は、京都風俗の花であり京のシンボルでもある。東京のデパートで時々、京都の老舗の名物店が連合で出村上元三なんて先生方と梨園の岩井半四郎丈をまじえて、十、ばかりで、木挽町の料亭へ磨張宣伝をすこともうけた。

そのとき酒席の隅のわずかな畳で、きちんと舞う舞妓たちの優雅な手ぶりを見て、私はさすがはきびしい井上流の稽古の、なみなみでないことに、秘かに感じ入ったのだった。

その舞妓が、そんなにはきまって京舞妓が、売に立って京分を振りまお客を吸いせる。

この京の舞妓に対して、東京ではお酌がある。だが、この半玉(はんぎょく)と呼ばれ、お酌とよばれるものには、京の舞妓のような特徴のある風俗はない。

だが可愛い桃割れや結綿にゆって、花かんざしや花櫛を飾り、引きずるような友禅の袖を振りながら舞う姿は、開いたばかりの花のように新鮮な美しさがある。この花、芯に蜜のようないろ気をほのかに含んで、いたずらな蜂の訪ずれを待つ風情もあって、まことに佳い。

赤坂で戦前万年お酌といわれて、十四才から十九まで、半玉を通した小豆さん、今は富士村の姐さん栄子、もう相当の大年増なはずだが、年増美を忘れたのか、未だにどこかお酌っぽいひとなのである。

を引率して[illegible]る役を、かて[illegible]地の友人が[illegible]受けて上京[illegible]た。それで[illegible]晩、舞妓の[illegible]で京言葉[illegible]中におぼれ[illegible]見ないかと[illegible]う誘いがあった。

そこで小界のお歴々ある江戸川歩、土師清二

えと文　神保朋世

モダン粋人記

塩釜様をカタル

明治六年十一月三十日の東京日日新聞に『カタリの話し』と題し巧妙な詐欺談がある。『一昨年のこととなり、千住駅の蠟燭屋藤兵衛方へふと買物に来りし女あり。その懐中に塩釜明神のお札ありしを見てその訳を問うに、その女これより奥州塩釜明神へ参詣するなりという。藤兵衛お札一枚を貰い受け、灯明油料として金一分をこの女に託して奉納す』との発端だ。

それから二年目の春、一人の僧がやって来て『自分は奥州塩釜明神の神職だが、一昨年参詣の女に託して奉納された油料の受取書をお渡ししたいと、書付とお札を出した。そして更にその男は、今年は塩釜明神の大祭に当り家内安全商売繁栄の祈禱をするので、東京の信者のために出張して来たので、貴殿は信心家だからこの箱を進上しよう。この中にそっと金を入れ固く封して人知れず毎日祈れば、自然と富貴になる』といった。

藤兵衛は早速ヘソクリの五十円をその箱に入れ、釘を打って神棚に供えたが、後日に箱を開けて見ると、その五十円がそっくりすり取られて消えていたというのである。(鮭)

風流世界譚

ソヴエトという国は旅行をするにも一々許可を必要とするので、ナターシャも精神病院に入院している夫のイワノヴィッチを見舞いにいこうと思いながら、実現できず、数ヵ月経ってしまいました。ようやく公休をもらってでかけましたが何せすべてが国営のお国柄、病院はバカでかくて、同姓同名の患者がワンサと入院しています。『タシケントで百姓をしていたイワノヴィッチですわ』といっても、同じような男が数人もいる始末。これにはナターシャもハタと困ってしまいました。これをみかねた守衛が『同志ナターシャ、ご亭主はいつもどんなことをいってました?』と聞きます。『そう、夫は……』しばらく考えていた彼女はやがて手を打つと『わかりましたわ』『で、どんなことを?』『夫はロクセのように〝イワンにはヽ気をつけろ〟といってました』そうと聞いた守衛。『ああわかった、それはイワンのイワノヴィッチだ、あいつは〝イワンに女房を盗まれた〟ってわめいていますからね』

× ×

ってはくれるんですがね、それが大変な量なんで、松茸なんか竹かごいっぱいなんだよ。おかしい、おかしいと思ったら、ゼニ出して買って送ってくれてるんですよ何のことはない、彼女の心付てなもんですよ。べつにぼくに惚れてたわけでもないし、ただ役がつけて貰いたいばっかりの気持なんですね』といっていた。まずは助監督万々歳といったところである。

あすの運勢

＝十一月三十日＝　高島象山

▲一月生—虚勢を張り虚偽に流れ信を失い失敗に至る慎むべきなり
▲二月生—何事も他動的災害を蒙り或は親類身内や家庭に心配あり
▲三月生—物事順調に進展し利達昌あり起業開業造作移転結婚吉
▲四月生—大望を抱き空想に陥り易いは我欲にして事を破る注意せよ
▲五月生—先輩上位の引立あり稼業職業共に栄達あり交渉事纏る也
▲六月生—窮地を脱し安楽栄達の道開け目的願望叶うなり旅行よし
▲七月生—物事に纏綿して機を逸し失望起る或は物に邪魔が入る也
▲八月生—心気動いて気迷い彼れよ是れよで失敗損失を招来し易い
▲九月生—万事思いつきは英断的に進出し成功あり開業移転結婚吉
▲十月生—冗費を避け社交を注意すれば無事なるも放漫に流れ易い
▲十一月生—何事も屈らず倦まず辛抱し努力すれば繁昌し幸い多し
▲十二月生—円満なる発展し自由なる向上あり利達栄昌する旅行吉

東海毒婦伝 青とかげ (144)

野沢純　土端一美画

街道往来 (六)

お幾の茶屋へ駕籠をおろした『江戸の大尽』が、誰であるかは、おりうもせんこく奥からのぞいて見知っていた。承知で姿を匿していたのだ。茜屋の前に、今のこの身を羞じたのではない。逢うことを恐れたのでもない。ここで出逢って万が一にも、昔の自分を界隈の人たちに知られることが、さし当って何よりも恐ればばかられたのである。

うっかり顔を見られたら、お幾がせっかく、自分の姪だといっていたことまで、嘘とバレてしまうではないか。

そう思ったからこそ、万感を胸にたたんで、奥の間にじっと、身をひそめていたのであった。

立った——と聞いてほっとした。

『町人とはいえ、どうしてどうして、十万石の大名以上の貫録だァね』

途中まで駕籠を見送っての帰り道、又ぞろ茶店へ立ち寄った例の引の長八が、ご本人のいない所で、お世辞たらたら、感嘆もどきに首を振っていったところをみると、見送っての別れしなに、なにほどかのふるまいにあずかったものであろう。

長崎まで行き、帰りは船だ——と訊かぬことまでしゃべって行った。

『江戸の仇を、長崎で討つ——というほど、江戸から長崎といやァ遠い旅だ。それをまるで隣り村へ行くような顔しているから豪気なもんじゃァねえか。さすがは江戸の分限者だァね』

そういった長八の言葉を、おりうは陰で、着替えをしながら聞いていた。

旅道中の黄八丈は、お幾がすでに解いて洗い張りに出し、代りに町場から、つい数日前おりうのために買い求めて来た、近江本場の浜ちりめんだった。

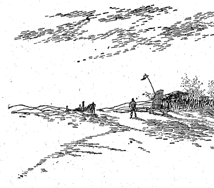
お幾としては、主家の娘であるだけに、おちぶれたとはいえ、あまり粗末なみなりはさせたくないのである。

その浜ちりめんを着替えながらおりうは茜屋万兵衛が一度は自分を囲いものにして、世話をしよう——といった時のことを、ゆくりなくも思い出していた。同時に、それをふすまの陰で聞いていた豊吉の怒り——

『お嬢さん——茜屋みたいな男に、あれほど露骨なことをいわれても、あなたは腹が立たないんですか? 侮辱とは思わないんですか?』

柳枯れ葉の舞い落ちる、往来を歩きながら、つめ寄らんばかりに、ふるえていった、手代の言葉が思い出された。(その豊吉は、どうしたろう?)

今になって、ふっ」それが、おりうの胸に浮びあがってきた。



洲ノ崎の浜の船小屋で、豊吉を前に、早瀬に逢わせてくれ——と頼んだ。一と目逢わせてくれさえすれば、あとはそのまま、お前の女房になってもいい——と誓った。

誓いのしるしに、船小屋で、たった一度の唇を許した。

逢々と尋ねた水戸に、早瀬はおらず、逢えなかった代りには、豊吉との夫婦約束も水に流れた。流れた——よりは、わざと流したおりうである。思う男に、逢えない事は悲しかったが、豊吉の女房にならないでほっとさえした。

まことは、はじめから、そんなつもりは毛頭なかったおりうである。所詮は手管で釣ったのだ。初手から、だましてかかっていたのだ。(あたしの体か心のどこかに、毒婦が棲んでいるのであろうか?)

今にして、心ひそかにふっとそう思ってみることもある。

——その時急にわやくとして往来が俄かに騒がしくなってきた。

(何だろう?)

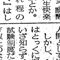
瞑想の夢破られて、おりうは思わず座を立った。

その道をきく

どんな商売でも権威、成功者と呼ばれる迄には、それ相当の苦難もあろう。そこをどう乗りこえたか?〝その道をきく〟のは以って他山の石としたい念願にほかならない。

三度の飯よりふぐが好き

ふぐ割烹『三友』主人

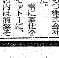


命をかけても食べたいのが『ふぐ』だという。ふぐを味わう醍醐味は人生快楽の極致とか。

それ程の『ふぐ』はしかも一度より二度、二度より三度とうまみが増すというからたまらない。一度『ふぐ』を食うと病みつきになるのは人間として当然のことといえようしかし、命をかけて味わう時代はとっくに過ぎた。素人料理ならいざ知らず、板前はレッキとした試験制度だし、しかもこの道十数年以上のベテランばかり揃えて文字通り〝ふぐの醍醐味〟を味わえる店——それが千代田区神田松永町十七のふぐ割烹『三友』だ。

アルジの内田賢治氏は新潟の人で、三十数年ふぐと共に暮して来たというから凄い。独立して二十五年。ふぐ料理の研究が三度の飯より好きだ。もう六十才に手も届こうが、今も自ら包丁握る熱心さである。趣味に書画の眼ききをやるが、何よりふぐが好きだとは恐れ入ったふぐ人ではある。

好みと容姿にピタリと整髪 理髪の佐野



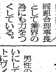
客の好みや容姿顔立ちを素早くキャッチしてピタリとした整髪をすることで有名な『理髪・佐野』は京橋二ノ一に本店を、西八丁堀三ノ十一に支店をもつ株式会社だ。

常に奉仕をモットーに、店内は清潔そのもの。店の技術者にはベテランばかり選んで界は愚か、東京でも名負ての理髪店である。

社長佐野秋男氏は静岡生れ。この道三十年の権威者だ。〝理髪は人々への奉仕〟をモットーに、営々築いた今日の声価を基に将来はもっと理想的な高級理髪店へと発展させたいという。

白衣作って35年 業界の雄・吉田義久商店

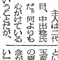
衛生思想の普及と共に大きくクローズアップされて来たのが白衣であろう。医療方面を始めとして理容、食料品、研究室など使用範囲も広く、純白な清潔感を漂わして働く姿は傍目にもりりしく感じられよう。



この白衣と共に三十五年、〝Y印衛生白衣〟の製造で知られるのが文京区根津八重垣町都電通りの『合資会社吉田義久商店』である。

吉田義久氏は本年56才。神奈川県の出身で15才のときからミシンを踏んで来たといわれるだけに、大正十五年独立してから今月までいつも陣頭に立って働いて来た。終戦までは朝鮮にも出して好評を博していた程である。東京都衛生白衣商工業協同組合理事長として業界の為にも力をつくしている。

せんべい界の草分け 加賀屋米菓本店



創業大正三年、四十余年の歴史をもつせんべい屋といえば台東区浅草左衛門橋通りの『加賀屋米菓本店』である。

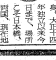
主人は二代目、中田稔氏だ。何よりも心がけているのは原料の精選ということだが、特にウルチ米によるセンベイなら『加賀屋』に比肩出来る店は東京には一軒もないという。

せんべいにとって原料米は生命といっていいが、特にいいのは埼玉産、越ケ谷、草加が絶対だ。この原料に加えて、タレの研究に余念がないから、『加賀のせんべい』がうまいのは当然。

王冠鳩印で名を売る Yシャツの『椎野工場』

男性のオシャレ、とまでいわないにしても、身嗜の重要なポイントにワイシャツがある。どんなステキなネクタイを締めても、どんな素晴しい背広を着ても、その下着であるワイシャツがお粗末だったら折角のオシャレも引きたたないばかりか、その人格も卑しくみえよう。逆に清潔なワイシャツを上品に着こなし、ネクタイ、マフラー、背広とマッチしていたら人柄は自からにじみ出て、人々に美しい印象を与えること必定だ。

このワイシャツメーカーとして三十年の歴史を誇り王冠鳩印で有名なのが江東区亀戸町一ノ八一にある『KK椎野工場』である。



社長椎野政雄氏は神奈川県の出身。大正十四年独立以来今日まで、場所こそ日本橋、両国、現在地と変ったが、仕事と信用はずっと一貫、関東一円に販売網を拡げて大きい商売をやっている。

つい先頃本社工事を二階建ブロック建築で完成、新館落成記念謝恩会を催した。電話(68)三六二五

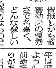
現在社の方は実弟広技氏に一任、後進の指導に邁進している。平塚工場ほか五ヵ所に工場を持ち、全国的に信用も得ている。電話82三五六七・五七五七番。

P・R・運動の先駆者 日本サウンド工業の井口社長

Nippon Sound

日本にP・R運動が宣伝されてから既に久しいが、その運動の推進にあずかって力あったものの一つに宣伝カーがある。

都市、農村を問わず軽快な音楽を流しながら駆け巡る宣伝カーは随所で素晴らしいセールスを行ってゆく。が、その車載無線機を今日の優秀なものまで育くんだ陰の人に『日本サウンド工業株式会社』の社長井口博氏がある。氏は文学通り業界の育ての親だ。



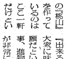
特に同社の車載アンプは動作の安定と故障の皆無しかも音響効果の優秀さで名高く、どんな激しい振動にも耐えられる精巧なものだ年々小型化するこの機械に、混気に耐える力を副えたのもこの人の功績だ。文都会、僻地を問わず自社製品に対しては即刻技術者を派して故障に応ずるというからP・R運動そのもののさきがけでもある誠実な人柄で業界内外の信用も篤く、世田谷物品納税協力会長として税吏との結託を蹴って明朗納税にも力をつくしている。〝来年は無線カーに全力をつくしてみよう〟という氏の口元は明るく、前途洋々たるものを感じさせて余りがある。

昭和八年京都市立第一工業を卒業。島津製作所、PCL、満鉄などに技師として歴任した。

訂正　廿七日付本紙本欄の『革手袋の名倉』の記事中、初代社長金一郎氏がとあるは金一氏の誤りに付き訂正致します。

優れた芸術的センス 〝桃山〟で定評ある『ときわ』

銘菓〝桃山〟といえば、あのふっくらした触感、美しい容姿、そして上品なうまみが一つに溶け合った〝芸術菓子〟だ。それは完璧なまでの芸術作品といってもあながちいい過ぎではない。



の『桃山』を作っているのはここ一軒だけというのをみれば、いかにこの菓子の製作が困難か判ろう。それは優れた芸術的センスと、長年鍛えた腕と、そして味覚に対する鋭い判断力が必要だ。とうていかけ出しのよくする所ではない。

これを作って有名な『ときわ』は向島須崎町電停際にある。本所広しといえども自家製『桃山』『出来るだけコストを引下げて大衆に味わって貰いたい』のが念願だというだけあって祝儀、仏事、進物に『ときわの特製桃山』が非常に出回るようになった。桃山のほか、名代どらやき、釣鐘最中も定評がある。山中氏は和菓子組合の本所支部長としても活躍している。

『甘さがナマのまま舌に感じられるようでは本当の菓子とはいえません』と当主山中由蔵氏はキッパリいう。





八方美人の典型
接吻にはたまらぬ唇のホクロ



『大変結構です…』先生はそういって口を結んでしまった。何が結構なのか聴く方では判断にまよった。

『マリリン・モンロウといってアメリカの肉体女優NO・1なのですが…』

『知っとるよ、かねがねうわさはきいとる』

映画を見たと仰有らなかった。

『口と顎、これがこの女性の玉手箱で、殿方を悩ませる秘密を持っておる』

『お尻の振り方もスバラシイのですが……』

『お尻を振るのは元来女性の本能的なもんじゃ、あえてこの女性とは限るまいウワッハッハ』と嬉しそうな笑いだ。

『ところで先生、本筋のお観ての方は……』

『白魚にも似てスンナリと気分は春のうららかさ──』詩か歌のようにおいでなすったのにはオドロキ──

『こういう女性は若い人、年寄り、貧乏人、金持、誰とでも付合いがよく、いわゆる八方美人の相とはこの方のこと。人にさからわず総てを成行にまかせ、昼も夜も優しい人……』

特に記者の耳のせいか〝ヨルも〟の二字が強く響いた。

『さっきいった通り大変いい口つきで、音楽は好きだが音痴じゃないかな─過去において苦難のみちを歩んでき、男性をキャッチする力がとぼしい。注意せにゃならんことはアメリカ人以外の異国の男とは絶対結婚してはならないことだ。写真ではわからないが唇の上にホクロがあるような気がする。接吻には甘さが手伝って気分満点なのだが、唇のホクロは親兄弟など肉親に縁が遠い、この辺で無罪放免にして貰おう』(完)

A級戦犯を仮釈放
二週間以内に　木戸、星野、大島の三氏



上木戸幸一氏　中星野直樹氏　下大島浩氏

【ワシントン二十八日発ロイター=共同】ワシントンの権威筋が二十八日明らかにしたところによると、旧連合国はここ二週間以内に星野直樹(元書記官長)大島浩(元ドイツ大使)および木戸幸一(元内大臣)の三名のA級戦犯を仮釈放する予定である。この結果A級戦犯で未釈放は佐藤賢了(元中将、陸軍軍務局長)一人だけとなる。

A級戦犯の仮釈放は米、英、カナダ、ニュージーランド、フランス、パキスタン、オランダ、オーストラリアの旧連合国八ヵ国で協議して行われることになっている。これら八ヵ国はさきに重光外相のA級戦犯釈放申入れを一たん拒否した。しかし実際はその後さる九月と今回とにそれぞれ三名を仮釈放し、結局明年春までに全部のケースを片づけたいと希望している。

来月六日舞鶴出港
大成丸の日程ソ連側了承

ナホトカからの帰国者二十五人の引取りに向う運輸省航海訓練所練習船大成丸(二、四三〇トン)の配船日程について二十九日朝、ミテルヨフ・ソ連赤十字社長から島津日赤社長宛に『お申し越しの帰国船の日程に異議ありません』との返電があった。日赤では十二月六日午前九時舞鶴出港、八日ナホトカ着、九日朝ナホトカ出港、十一日舞鶴着の日程を決め、二十七日にソ連赤十字社に打電していたもの。

なお日赤は二十九日大成丸乗船の日赤代表を次のように決めた。

△団長=古明誠一郎(本社奉仕課長)△代表=百川伝信(新潟支部事務局長)=荻原秀三(秋田支部事務局長)△随員=渡辺晃(本社外事部員)

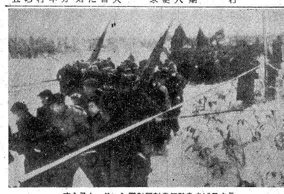
このほか愛媛支部から救護班(医師一、婦長一、看護婦二)が同行する。

大証労組柔軟闘争展開

【大阪発】期末手当〇・八ヵ月分と、年間臨給の支払月変更にともなう調整金一ヵ月分を要求している大阪証券取引所労組は、二十八日の団交が決裂したので、二十九日始業前から柔軟闘争に入った。従来の闘争と異なり、組合側がハチ巻戦術をとらなかったため理事者側とのまっこうからの対立は起らず、定刻午前八時五十分平常通りの立会が始まり、午前中は一部の職場でサボタージュが行われただけで平穏、正午すぎから所内デモ、午後二時から同四時五十分まで電話交換手の時限スト、定時退所などを行った。この柔軟闘争は十二月二日まで続けられ、それでも解決しない場合は五日から九日まで第二波として全面ストを含む強力な戦術をとることになっている。

赤旗を尻目に強行
北海道　オネスト・ジョン試射

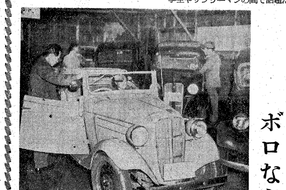
【島松演習場発】北海道島松演習場におけるオネスト・ジョン試射は二十九日午前十一時十分予定通り行われた。発射直前の十一時には砲座から約百五十メートル離れたロープ際で気勢をあげていた約六百名の行動隊が北大生約百名を先頭に百メートル四方のメーンテーペの砲座台になだれ込み、十一時五分にはついに七十名が砲座前に座り込んだが米軍はそれを無視、十一時十分予備砲座からオネスト・ジョンを発射した。



オネスト・ジョン発射反対の気勢をあげスクラム組む全道労協の行動隊員=札幌共同電送

人気よぶ60円の貸自動車

一時間の賃貸料がたった六十円也というべら棒に安い庶民的な貸自動車屋が池袋に出現、学生やサラリーマンの間で話題になっている



池袋に現われた話題の貸自動車屋

毀しても軽い気持
三、四万円の中古車で交通地獄の実地練習
ボロならではのスリルも

[illegible]

自動車教習所で運転技術を習得しても、実際に交通地獄を平気で流せるようになるには、四ヵ月の実地練習が必要だ。それには一日七、八千円もするのドライブクラブの車を借りたのではフトコロが重荷の上、衝突でもして、こわしたら大変な弁償を支払わねばならない。そこでこれら〝運ちゃんの卵〟たちのため〝中古車を安く貸そう〟と中古車販売会社が片手間にはじめたのがHクラブなのである。中古車ならもしオシャカにしてもせいぜい三、四万ですむし、一時間六十円の借料なら学生のフトコロでも軽いとあって、Hクラブは開業早々なかなかの盛況。日曜祭日などは予約なしでは借りられないそうで、すでに会員は四百名にのぼっている。

珍事故もしばしば

会費は六ヵ月分三百円でクラブ員の大部分は学生と公務員などサラリーマンが大部分。女性も学生が七人まじっている。車は三六、七、八年型のダットサンで、むろんスマートとは申せないが、戦前から〝馴染み〟の型なのでどの修理工場でも直せるし、部分品がないことはないという妙なところが自慢の車ばかり。さて会員の事故はあまりないがたまには椿事もある。

つい先日、アベックからエンジンストップを起したと急報を受け係員が駈けつけると、前後二十台もの車にはさまれ、ご両人が嵐の罵声を浴びながら泣き泣き車を押していた。また神奈川県日吉から『車がこわれたので、現場に置いて帰る』と電話があり、行ってみると故障ではなく、ガソリン切れだったなどというお笑いの一幕もあった。

しかし先週の日曜など四人組がボロ車をだましだまし操って三浦半島を一週、係員をビックリさせたツワモノもあった。坂さえなければ古車でも平気だそうで、係員は『コツは無理をしないことですよ』という。熱海往復のドライブ代が、借代千円、ガソリン代七百円計千七百円の安価とあって、ちかごろは恋人を従えてサッソウと中古車で東海道を飛ばすご仁もあらわれてきたという。

ふし穴

千円札を撒く重役さま

◇タクシーの運ちゃんが最近エントツ監視ノイローゼに罹り悲鳴をあげている。エントツをさせる方が悪いのだから運ちゃんに別段同情を寄せたくないがエントツをさせるように仕向ける監視員のやりかたもまたどうかと思う。話しというのは─Aという運ちゃんが数日前の夜、新橋近くで客をとると『新宿へ二百円で行ってくれ』とのこと。ボタモチを前におかれれば甘党はつい手が出ると同じように、運ちゃんはOKとばかり承知した。ところがこのお客が監視員だったとは、トンダ罪つくりな話。

◇もう一つこれとは違うが、近頃監視員が乗用車に乗ってエントツ車を監視する手が行われている。『空車』の赤い字が夜光塗料になっているので、お客を乗せ、立てて走っていると、後からライトを浴せればスグわかるというのだ。暮のカキ入れ時を前に、エントツ運ちゃんお手あげの巻。

◇飲屋へギターを流したり、花売りや南京豆売りはもうお古い。浅草や銀座にホンものか偽か唖を装い、門付して結構ゼニコを稼いでいる四十四、五才の男がいる。みすぼらしい身装で『ウウウー…』と手真似、足真似、チクリ一杯楽しんでいる傍にきてねばられると、同情と薄気味悪さでゼニコを出すという次第──

◇池袋のある飲屋で札束を十二、三枚積み、千円札をやり取りしている二人の男があった。自動車で乗りつけビール肥りしているところをみると、どうしても重役か社長タイプ。飲屋の女達は千円札の乱舞に見惚れるばかり。この男なんでも保全や日殖など金融会社の槍玉にあげられた同類の××会社だが最近どうやら立直り、暮間近のあわただしい金融に利ザヤを稼いではかく豪遊、ノドモト過ぎれば熱さを忘れるとはこのこと。まことに困ったものである。(蕾)

数億円の時計を密輸
黒幕『金炳栄』を指名手配

【前橋発】密輸時計事件を追及している群馬県警本部は二十八日夜東京都新宿区三丁目金海こと金炳栄(三九)同区市ケ谷横田熊二(三五)同横田茂(二〇)ら十名を関税法違反の疑いで全国指名手配した。同人らはさらに逮捕された時計ブローカー川越市若原島村銀寿(四三)東京都豊島区高田町同張俊英(三九)の両名にスイス製時計をホンコン経由で密輸入し売りさばいていたもので、金炳栄が黒幕となり合計数億円の巨額にのぼる大掛りな時計密輸団を組織していると当局ではみている。

電線切断、覆面の賊
杉並　浅田飴社長宅を襲う

二十九日午前三時三十分ごろ杉並区阿佐ケ谷六の二二六浅田飴の社長堀内伊太郎さん(六五)方の湯殿から三十五、六才、覆面和服姿の賊が侵入、電灯線を切断した上、八畳間に寝ていた堀内さんの知人埼玉県北葛飾郡幸手町一マッサージ業杉田正雄さんの背広から現金八百円を抜き取り、さらに洋間に就寝中の堀内さんと妻もと子さん(五八)を起し『金を出せ』と脅かしたが堀内さんが『みそか近くで金がない』というとそのまま逃走したと杉並署に届出た。

店員脅し強奪

二十八日午後九時半ごろ荒川区南千住一の八六元トラック助手M(一九)を恐喝現行犯で逮捕した。坂本署の調べによると台東区浅草田原町三五鳥肉商青庭方店員持田正雄君(一七)が集金に行った帰途、同区龍泉寺町先路上でささいなことから通行人と口論となったが、これをみていたMが持田君をいきなり暗がりに呼び込み『金を貸せ』と集金カバンの中から三千百円を強奪逃走した。驚いた持田君が『泥棒』と連呼したので近くをパトロール中の同署町田巡査がかけつけ逮捕したもの。

顔を蹴り千円強奪
幡ケ谷に二人組

二十八日夜七時十分ごろ渋谷区幡ケ谷笹塚町一ノ一四三先で杉並区和泉町三五三自動車修理工金子方三郎さん(二〇)は、二人組の男に脅され、顔を蹴られて一週間の傷を負わされた上、現金一千円を奪われた。

大山郁夫氏危篤

参議院議員大山郁夫氏の容態につき主治医北沢英雄博士は二十九日午前十一時危篤状態になったと次のように発表した。

二十五日夕刻より昏睡状態を続けていた大山氏は二十九日朝から両側の肺炎を併発、危篤状態に陥った。

鶴見の朝火事
日清製粉寮など百五坪

【横浜発】二十九日午前四時二十分頃横浜市鶴見区生麦町一二四八丸中青果(責任者中西誠一氏)の倉庫から出火、木造バラック建一棟十五坪と隣接日清製粉鶴見工場生麦寮二階建二百三坪の内九十坪を焼いて同五十分鎮火した。原因そのほか鶴見署で調べている。

大阪で印刷工場焼く

【大阪発】二十九日午前三時四十分ごろ大阪市都島区野田町三九天業社印刷会社=社長出間照久氏=の中央植字工場から出火、大阪府警機動隊二個小隊、消防車十数台が出動、消火に当ったが密集地帯のこととて火のまわりが早く、木造二階建の印刷工場、事務所など二百坪を焼き、さらに南隣りの傘屋後藤進さん(五四)堤菓子店、大阪海陸運輸社など木造二階建の民家約五十坪を焼いて同四時半ごろ鎮火した。賊はいずれも二十三、四才ぐらい五尺五、六寸で新宿界隈の不良の仕業とみて代々木署で捜査している。

八尾市でも工員寮

【大阪発】二十八日午後九時二十分ごろ大阪府八尾市中野二四二元日本蓄電器工員寮二階西隅から出火、木造二階建の同寮四百四十九坪のうち三十余坪の講堂を残して計四百十五坪を全焼、同十一時四十五分鎮火した。同寮は二十九年八月日本蓄電器会社解散以来東住吉区平野馬場町鉄商内堀米三氏(五四)が所有、元同社員角田はるさん(六三)など二世帯四人が留守番中だった。

あすのスポーツ　△ボクシング　福地対山崎、赤沼対保田、田中対佐々木=各十回戦(六時、国際スタジアム)△馬術　東都大学(正午、馬事公苑)△競馬　船橋=四日

座込みなど取締り
官庁　粛正

政府は二十九日の閣議で従来労働争議のピケ、座込みなどによって弛緩している官庁管理の改善を協議した結果、法規に基づいて厳重取締ることをきめた。同日の閣議では根本官房長官から『労組のピケ、座込み、集団陳情などによって官庁の規律が非常に乱れているこれでは国民に奉仕する官庁のあり方ではない。法規に基づいて厳重に取締る必要はありはしないか』と発言、各閣僚ともこれに賛成、ただちに事務次官にこの旨指示することになった。

マグロ船上の殺人
出漁中甲板員、同僚を刺す

【横浜発】横浜海上保安本部は二十九日朝七時半東部湾口第二海堡付近で三浦市三崎町仲崎一九〇大東魚類三崎出張所所属マグロ漁船第二厚生丸(百五十トン、中里昭一船長以下二十五名乗組)甲板員上村一太郎(三六)=三浦市三崎町六合三三〇六=を殺人の疑いで逮捕した。調べによるとさる十三日午前五時ごろ同船が南太平洋マーシャル群島付近で操業中、上村は同僚の甲板員山路頼雄さん(三〇)=和歌山県東牟婁郡勝浦町高岸=と口論し、山路さんの左腕を魚の解剖刀で刺し、山路さんは翌十四日夜八時ごろ出血多量のため死亡したもの。なお山路さんの死体は同日午後藤井裁判医の手で解剖された。

自転車通学の坊や即死
すれ違いの電車にはねられて
池上線

二十九日朝八時二十分ごろ大田区久ケ原町二四八百屋椿市太郎さん(四八)長男一男ちゃん(八つ)=区立徳持小学校一年=は自転車に乗り通学の途中、同区池上徳持町八一先東急池上線千鳥町踏切りを横断しようとし、下り蒲田行電車=花木伊三男運転士(三七)=にはねられ頭を打って即死した。池上署の調べによると同踏切りは警報器が鳴っていたが、一男ちゃんが上り電車の通過直後、すれ違いに進行してきた下り電車に気づかなかったものらしい。

日大顧問ご難
藤沢に二人組辻強盗

【藤沢発】二十八日午後九時半ごろ、藤沢市鵠沼橘通り郵便局付近三叉路で同市鵠沼二三九六日大顧問、山下新氏(六五)は帰宅の途中二十八才位の茶のオーバーと三十才位の黒背広の二人組におどされ十七金側腕時計一個と現金三百七十円を奪われたと藤沢署に届出た。

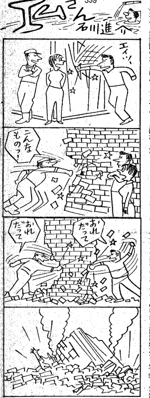


独眼灯

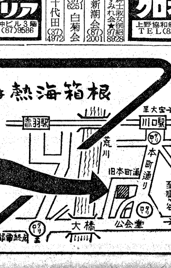
○…キング・コングら巨人外国レスラー一行は全日程を終えてきょう二十九日夜羽田から発つが、先日東京歌舞伎座前の印度料理、Nレストランにキング・コング、ダラ・シン、サイブ・シャーらがあらわれた。印度出身のダラ・シンは久しぶりの故郷の料理に舌鼓をうち、コングらも日本料理は苦手なので『これはイケる』とばかり鳥のカラ揚大皿十八、ビール四ダースなどをペロリ平らげた。

○…店頭には黒山のファンが、そのケンタンぶりにビックリ、交通巡査も臨時出動する騒ぎ。向いの歌舞伎座から案内ガール三十人がいっせいに手を振れば、喜んだコング路上でハネ上って珍妙なウインクをして『日本ムスメはスバラシイ』とこもごも愛敬をふりまいたなど、さすが堂々たるショウマンぶりを発揮した。

【写真は中央キング・コング】







続 情炎の千代田城

岩崎栄 作　寺本忠雄 画

天城の雲（七）　（314）



「がってんでござる」
二人が妙な言葉使いするから、お市が眼を見張るように見上げているのを、千代太郎が外へ呼び出した。
「おい、薪をこさえとかなきゃー」
「へえ、常道の上の方さ行けァ、松林があるだで、枯れ枝が取れますだ」
二人は山みちを登りながら、
「取れますだとか、へえだとか、上等の言葉使いしちゃいけねえよ乞食らしくねえからな」
「なんでまた、一生けんめいになって、乞食らしうせにゃならねえですか」
「それあおめえ――でえ一、おめえの親や兄貴の仇を討ってやるにしてもだよ、非人や乞食の仲間に身を落してりゃあ、まるでこいつあ隠れ蓑だからな」
「すみません」
お市はしゅんとなってうつむく。
「おめえのための仇討なんざこいつあ付けたりだよ。もっと、おいらの方にゃ、大きな目当てがある
「鬼征伐するのけえ」
「うん、やっつけてやるよ」

時代劇を作る人々

③ 衣裳部

歌舞伎などの場合は演しものがきまっているから、衣裳方の苦労はそれほどでないところが映画となると、時代も人物も千変万化で、それに応じて変えねばならないから、並大抵でない。先ずシナリオを渡されてそれを読む。大体のイメージができるがキャストが発表されるとそれによってまた改めて合う柄、合わない柄を考えねばならない。服飾史をめくったり、歴史上の人物の場合は図書館に行って、その人の肖像を調べてみたりの考証もする。しかし例えば東宝の『宮本武蔵』の場合、実在した武蔵が三船敏郎の武蔵と同じ柄、同じ生地の衣裳をつけていたかというとそんなことはない。長谷川一夫の木曽義仲、幸四郎の井伊直弼、みなそうだ。役の性質四分、俳優の個性六分で衣裳がきまる。また柄の大きい小さいも作品の性質によって違って来る。錦、千代が売りものの場合はアップが多いから小柄な衣裳を選び、ロングの多い場合は主役には目立つような、大柄な着物を着せるといった具合。



内田監督



三船敏郎



中村賀津雄

飛行機の整備員なみ
半エリ一つにもきびしいファンの眼

役 者に衣裳を提供するという地味な裏方にとっての喜びは『ちょうど飛行機の整備員のようなものです』と東映京都の衣裳係長三上剛氏はいっている。ファンからスターに、あの映画であなたが着た衣裳はすばらしかったという手紙がもたらされる―それが彼らの楽しみになる。しかし次から次へのシリーズものなどでは、スターに着せる柄に本当に弱らされることが多い。迷いに迷って夢に見た模様を、翌日呉服屋に注文して、千代之介に届けさせたら『この模様はうちの紋とソックリだ』と喜ばれたこともあった。街で行きずりの人の和服の柄にヒントを得てデザインすることもある。いま松竹で撮影中の『元禄美少年記』（演出伊藤大輔）ではは、忠臣蔵四十七士の一人だった矢頭右衛門七が、足軽出身なるがゆえに、同志の間でも蔑まれたり、疎んぜられたりした階級意識を衝いたもの。そういう作品の性質上、右衛門七役の中村賀津雄は貧しい綿の着物をきているが、これが東映の『忍術左源太』（演出深田金之助）になると伏見扇太郎は青、黄、緑、ピンクの入り交ったケンランたる派手な衣裳になる。しかし同じ東映でも『黒田騒動』で、千恵蔵の栗山大膳の着る袴は、お家大事と誠忠一図の感じを出すために、異例の綿ものを使ってみたところ、内田吐夢監督から『これはピッタリだ』と褒められた。

新 制中学、高校生あたりのファンは好きなスターの出る映画なら一本を三回、四回も見て、端役にいたるまで一人残らずノートに記録するのもいるほどだから、衣裳でもいい加減なことはできない。これは中、高校生ではなかったが、ある作品で花柳小菊が小さな鹿の子の半襟を着けていた。汚れたので取替えたいと思ったが、スペアを注文するヒマがない。ホンの一シーンだし、小さな柄だからわかるまいと思って裏返しにして出演した。スタッフも気付かず所内試写でもそのまま通過した。ところが東京の浜町のさる芸者から衣裳部宛に、本人が知らないでそのまま出たのか、それとも意識的にやったのか教えて欲しいと手紙が来たので、恐れ入った衣裳部では三上係長自ら『かくかくの事情でして…』とわび状を出したこともある。



片岡千恵蔵



東千代之介



花柳小菊

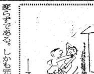
当った『浮草日記』に
勢いづく？独立プロ
だが前途はまだまだ多難



『浮草日記』の一場面、菅原謙二と津島恵子

山本ぷろ・俳優座の提携作『浮草日記』が予想以上のヒットをして、久しく青菜に塩の状態をつづけていた左翼映画の牙城・独立映画はホッと一息ついたかたちである。この他さきごろ公開されたまどか・ぐるーぷの自主製作『花ひらく』も僅かながら黒字だったし、にんじん・くらぶの自主作品『胸より胸に』も間もなく封切られる。更には目下今井正監督が現代ぷろで『真昼の暗黒』の製作を開始しており、まどか・ぐるーぷも第二回作を検討中といったにぎやかさ。では果してたも真ん中も問わず、独立プロダクション活動全体の前途は明るくなってきたのだろうか？

『浮草日記』は松竹系で『二等兵物語』と併映されたのだが、二十日の日曜の浅草松映では観客動員一万三百、興収百万円を超し昨年五月の『君の名は』（第三部）と肩をならべるほどの好成績であった。製作費はわずか千六百万円、松竹での買い取り価格が千八百万円前後だからすでに完全な黒字なわけだが、この分では今後独立系統の配給網によって四千万円ぐらいの配収があるのではないかと関係者は胸算用をたてている。『真昼の暗黒』はいわば第二の『浮草日記』を狙って予算も当初千八百万円ギリギリに組まれたが、今井監督の要請によって二千万円に組直され、製作資金も電産・家城プロの提携による『姉妹』の続篇『こぶしの花の咲く頃』の製作資金のうちから、約九百万円を先きに融通して貰うことによってこのほど撮影を開始した。六社の作品に堂々と競争できる作品とんど自主製作をあきらめた格好で変らずである。しかも完成したものが大会社の配給網に乗るとは限らない。そこにはまた買叩かれるということもある。こんな具合だから吉村公三郎、新藤兼人、乙羽信子らの近代映協などは最近ほとんど自主製作をあきらめた格好で中』（演出新藤兼人、主演乙羽信子）と、いずれも企画売込みあるいは下うけ的な製作方針に転進してしまっている。にんじん・くらぶの『胸より胸に』もすでに日程ははるかにオーバーし製作費も三千万円を超え赤字はまぬかれない。だから『浮草日記』のようなケースは全く珍しいということになるわけだ。来春から実施される予定の二本建興行が目下のところ唯一の光明になっているが、これには勿論種々の制約が予想され、独立プロ自身が考える独自な企画を買上げてもらうことなどはほとんど僅かで、勢いにんじん、まどかなどの俳優プロダクションを除けば六社の下うけ機関に甘んずる以外はないとみられている。



お父ちゃん、八百長ならいいだろ。
――子供

新東宝 社長に大蔵氏
きのうの重役会で決る

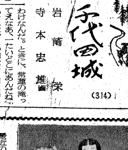


大蔵貢氏

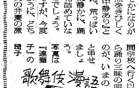
新東宝では二十八日午前十一時半から本社で重役会を開催、富士映画社長大蔵貢氏の取締役就任を付議可決、来る十二月二十九日の臨時株主総会にこれを付議することになった。大蔵貢氏の新東宝乗込みはかねて関係者間で協議が行われていたもので、新東宝の社長として同社の采配を振ることになるものとみられる。なお大蔵貢氏は近江俊郎の実兄で現在富士映画社の社長、東京都内に有数劇場を経営し、かつて日活重役として営業面を担当、才腕をふるった人である。

大蔵氏、乗込みの弁　話は約二ヵ月まえぐらいから服部知祥氏からお話があった。しかし、いろいろ未解決の問題があったので現在まで延びたが、私の提出した条件が受入れられることになったのでお引受けすることにした。新東宝の弱味は手持ちのスターが少いことだ。この点今後とも五社協定を活用して、スターの融通を積極的に受けられるように運動する。製作資金は正月映画の製作には何ら支障を来さない見通しが立っている。新東宝の第二の弱点は優秀な封切館がないことだが、これについては、私の関係している劇場の中から適当な劇場を提供することも考えている。

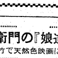
踊りと僕
市川団子



最近の僕は、踊り三昧と申してもよいでしょう。父段四郎が北京公演へ行く前に、親子一緒で『連獅子』を踊り、その前は祖父猿之助、中車伯父さん、父などと『悪太郎』を一家総出で、そうして十一月も父と共に『橋弁慶』を踊りましたが、舞台で踊っている時よりお稽古の方が大変なつらさです。『連獅子』や『橋弁慶』は僕の家にとっては、僕で三代にわたる家の芸であるだけに、責任も重大ですし、それだけ祖父や父の仕込み方も厳格なのです。祖父などからもいわれることですが、芝居と同様に、踊りでも感情表現が必要なものですが、踊りの場合は、どうしても動きや音楽にとらわれて『心』がおろそかになりがちなので、その点をきびしく叩かれます。『動中静あり』という言葉の通りに、荒っぽい踊りの時に『心』は静かに、踊りの『心』をよく見詰めていなければならないのでしょう。生意気のようですが、今度やった牛若丸のように、どちらかというと、父の弁慶の激しい動きを受けて立つ立場の踊りは、非常にむずかしいと感じています。本当のところは、ただもう夢中で踊っているだけでした。父などにも、踊りの舞台を離れた時にこそ、日常生活への観察を一刻でも忘れてはいけない。何かを観察し、そこから深く感じとったものを舞台の上の感情表現に役に立てるようにしなければならないと教えられています。
『橋弁慶』が済んだと思ったら、すぐ勘十郎さんのところで、十二月歌舞伎座の『戻駕』のお稽古です。というわけで、昼間学校へ行く以外は、もっぱら踊り三昧の明け暮れというのが、いまの僕の生活報告と申せましょう。
写真は『連獅子』の団子



歌右衛門の『娘道成寺』
松竹で天然色映画に撮影



松竹大船では中村歌右衛門の舞踊・天然色映画『京鹿子娘道成寺』を萩山輝男監督で来月十日から撮影する地方は芳村伊十郎ほか。この映画は主に海外向けをねらっており、通常五十分位かかる『道成寺』の内、山づくしのクダリを抜いた三十五分モノ。
【写真は中村歌右衛門】

浅草の会で忘年会『文士劇』　浅草の会では十二月三十日、奥山劇場で忘年会〝文士劇〟を催す。当日の番組は『鈴ケ森』（白浪五人男）などで、出演者は志村立美（権八）鴨下晁湖（長兵衛）岩佐東一郎（赤星十三）平野威馬雄（南郷力丸）の諸氏ほか。

『宮本武蔵』がアカデミー賞候補に
ロスアンゼルスで大変な人気

ウィリアム・ホールデンの解説つきという東宝の『宮本武蔵・第一部』はロスアンゼルスのバガボンド劇場（定員三百五十名）で十一月八日から公開されたが、連日満員の盛況で早くも本年度アカデミー賞の外国映画賞の有力候補作品にあげられている。観客の六十㌫はアメリカ人、残り四十㌫が邦人二世で占められている。

ビルマロケ来月出発　日活『ビルマの竪琴』のビルマ・ロケは十二月十日ごろ出発と決った。



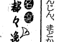
プロレス遊び
お父ちゃん、八百長ならいいだろ。

ある。『足摺岬』が約八百万円の赤字『どぶ』『狼』などいずれも収益をあげるまでにはいかなかったのにもよるが、東映の『美女と怪龍』更には目下日活での『銀心

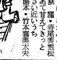
名吟 都々逸　石井きんざ選

恋のぬかるみずるずる入り 世間の噂じゃ都落ち　新富町・弘子
好きなら手ぐらい握ればよいに 内気というにも程がある　荻窪・寺尾美雪松
別れ際耳に口あて甘えてきっと 逢って下さい近いうち　湯本・竹本喜美太夫
秋の淋しさ身にしみじみと わかる一人で寝てる旅　船橋・今井ちさと
◇
あんな強さがひそんでいたと 気付かず女房にした不覚　選者

消息　日本ジャズ学校（新宿区柏木三の三七一）校長ティーブ釜范はこのほど勇退、代ってヘンリー倉田が校長に就任した。



▽…このところ舞台で毎日カスタネットを鳴らして踊っているジプシー・ローズ、手ほどきをしてくれた比島人の振付師ビング・コンセプションが人一倍熱心でつぎつぎとダメを出すのでフラフラ。
▽…『この頃っていったら、何か音がするとみんなカスタネットの音に聞えるのヨ。ほんとに神経使っちゃうわ』と少々コボすと、ちょうど楽屋へ来ていた演出の宇津秀男氏が『ははァ、それは…。カスタネット・ノイローゼだよ、カスノロだ』にジプシー『まさか…』



【写真はジプシー・ローズ】

今晩のラジオ

29日（火）

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニツポン★ 1310KC
6	00 子供のシブンン◇ちえのポスト 柳内達生他 25 オテナの塔 須永宏他	05 英語会話 松本亨 30 受信機講座 市原嘉男 40 プラスチツク時代 井本稔	10 東西こぼれ話 高野アナ 15 コンサート 南十字星 25 クイズ・パトロール	00 劇『少年宮本武蔵』 10 劇『平将門』高橋昌也他 25 LPヒツトパレード	00 ポツポちゃん物語 15 メロデイの泉 30 歌 小畑実 稲沢一郎他
7	00 ニュース◇天気予報 15 録音ニュース 30 話の泉 渡辺紳一郎他	00 名曲鑑賞≪二台のピアノと打楽器の為の奏鳴曲≫ 30 明日の農民≪栃木県≫	10 録音ニュース 20 歌うオルガン 松沢宏 30 落語『星野屋』正蔵	00 録音ニュース 10 君の歌僕の歌 美空他 30 漫才クイズ≪弥次喜多≫	00 ラジオ夕刊（耳の新聞） 20 花のステージ 歌内田正人 30 歌謡クイズ 伊藤久男他
8	05 青空の仲間≪哀れ秋風の巻≫榎本健一 小柳ナナ子 若水八重子他 30 民謡をたずねて 梅寿他	00 ニュース 05 ラジオ家族会議≪結婚について≫金森徳次郎 森田たま 石田アヤ他	00 剣に生きる人々『五郎正宗』東野英治郎他 30 歌の風車 伊藤久男 榮地容子 藤島桓夫他	00 家庭音楽会 司会米倉アナ 三味線豊吉他 30 連続講談『徳川家康』第七十九回 宝井馬琴	00 今週の花嫁花婿 芦野宏 中原美紗緒 三木鮎郎他 30 演芸バラエテイ『水戸黄門漫遊記』内海突破他
9	00 ニュース解説 安斎義美 15 若い季節 姫ゆり子他 40 時の動き『北海道にオネストジョン』	00 放送音楽劇『銀貨の声』≪芸術祭参加≫池田得恵子 加藤玉枝 荒木宏明 友部光子他	10 浪曲天狗道場 前田勝之助 相模太郎 池谷アナ 40 劇『ホガラカさん』野添ひとみ 藤夕起子他	00 歌うバースデイプレゼント 宝とも子他 30 ❶漫才ヒツト・マスミ❷落語『青春時代』枝太郎	00 歌のカクテルパーテイ 柳沢真一 旭輝子他 30 火曜劇場『夜から夜まで』木村功 久慈あさみ他
10	15 虹のしらべ三周年記念特集≪思い出のヒツト曲≫ 40 スター訪問 岡田茉莉子	00 高等学校講座❶国語 鳥山榛名❷解析 山崎三郎 45 気象通報	03 今日のニュース（朝日） 15 劇『人情馬鹿物語』 30 ヨハネ伝による受難曲	00 大学受験実力養成講座 和文英訳 JBハリス 30 解析（Ⅱ）田島一郎	00 劇『南無三宝』本郷秀雄 15 歌 照菊 津村謙 35 わたしの選曲 阿里道子
11	10 ユトリロの死 荻須高徳 20『眠るとき』井上康文・作	05 優良商店を訪ねて 20 医学の時間 樫田良精	10 劇『いのちの声々』大木民夫 滝口順平 湊俊一	00 夜話≪三笠宮を囲んで≫ 30 欧州の調べ（タンゴ集）	00 スポーツ・カレンダー 15 三味線の手ほどき

テレビ
★NHK★ ◆6・00 童謡集◆6・30≪浅草界隈≫新田潤 ◆7・10 素人ラジオ探偵局 ◆7・50 短篇映画『霜と霜柱』 ◆8・00 政治討論会≪二大政党と今後の政局≫
★NTV★ ◆6・00 海のサブー ◆6・20 映画『氷山を追つて』 ◆6・45 映画『英国の航空大会』 ◆7・30 ああ無情 ◆8・00 力道大いに語る◆8・30 寄席めぐり右女助 志ん生
★KR★ ◆6・00 映画『迷える昆虫』他 ◆6・35 サザエさん ◆7・00 お笑いゲーム ◆7・30 映画『日曜日のニューヨーク』◆7・40 日本・トルコ国際レスリング試合実況